

令和5年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育研究紀要

研究主題

地域と連携した活動による地域に貢献できる生徒の育成



さいたま市立植水中学校

〒331-0056

さいたま市西区三条町345-1

TEL 048-623-2581

FAX 048-624-2134

e-mail uemizu-j@saitama-city.ed.jp

1 学校概要

本校はさいたま市の北西に位置し、荒川や鴨川に囲まれている緑あふれた教育環境の中にあり、周辺には高い建物やビル、団地、マンション等はあまりない。現在189名の生徒が在学しており、学校行事や地域の行事、保護者・地域の方々によるあいさつ運動・地域巡回活動を通して連携を図り、地域とのつながりを深めている。

なお、令和元年に発生した台風19号の際には堤防決壊の恐れがあり、多くの家庭が避難勧告を受けた学区である。そのため、地域の防災に関する意識も高く、高齢者が多い地域でもあり、行動力のある中学生が地域の担い手として期待されている。



2 研究概要

(1) 研究テーマ

地域と連携した活動による地域に貢献できる生徒の育成

(2) 設定理由

本校では令和2年度からさいたま市教育委員会の研究指定を受け、3年間防災教育の研究に取り組み、「自助・共助・扶助」について研究して、地域への貢献について学んできた。今年度は、これまで学んだことを地域に還元し、災害が起きた際は自主的・実践的に行動し、地域に貢献しようとする意識を育成したいと考えた。また、本校周辺の地域は協力的ではあるものの、高齢者も多く、コロナ禍において触れ合う機会が減少していた。そこで、地域の方との触れ合いの機会を増やし、行事等に生徒・地域が一体となって取り組み、交流を図ることで、コミュニケーション力を育成し、地域における自らの役割を理解し、行動できる生徒を育成したいと考え、本テーマを設定した。

(3) ねらい

地域との交流や連携を通して、生徒が地域における自己の役割を理解して、自主的・実践的に行動するとともに、コミュニケーション能力の向上を図り、地域に貢献しようとする態度を身につける。

(4) 研究計画

- 5月 生徒の意識調査の実施
- 6月 西区防災訓練への参加 【希望者】
地域花壇への花の植え替え 【SDGs 美化委員会等】
- 9月 社会を明るくする運動植水地区集会への参加 【代表者】
- 10月 赤ちゃん・幼児ふれあい体験の実施 【3年生】
- 11月 輝き事業クリーン活動（地域清掃活動）の実施 【全学年】
中野林南地区防災集会への参加 【科学部等】
- 12月 未来くるワーク体験（職場体験）の実施 【2年生】
地域花壇への花の植え替え 【SDGs 美化委員会等】
西区競書会への参加 【希望者】
- 1月 ふれあい体験講座の実施 【3年生】
- 2月 生徒の意識調査の実施
- 3月 研究のまとめ

※ 年間18回、土曜チャレンジスクールとして、地域の方が生徒に学習指導を行う。

3 研究の取組

(1) 防災に関する取組

①中野林南地区防災集会

令和2年度から令和4年度までさいたま市教育委員会の研究委嘱を受けて取り組んできた防災教育の研究について、地域からの要望もあり、研究した成果を地域に還元するため、中野林南区自治会の協力を得て11月11日に地域を訪問し、本校代表生徒が発表を行った。本校は災害時の避難所に指定されているため、生徒が災害時に避難することも考えられ、日本赤十字社から教わった救急対応の方法や段ボールパターションの作成方法について、実演を行いながら説明した。また、地域の方と一緒に段ボールベッドの組み立てやアルファミの炊き出し訓練を実施するなど、交流を図った。



②西区防災訓練

本校は、さいたま市が行っている西区の防災訓練会場となっており、例年訓練活動に生徒が参加している。今年度は6月に実施され、研究発表の際に行った包帯等の活用方法や毛布を使って担架を作る活動、段ボールベッドの組み立て方について地域の方と一緒に取り組んだ。また、避難所訓練ならではのマンホールトイレの設置も見学し、避難所での取組について学ぶとともに、交流も図ることができた。



(2) 小・中・高連携に関する取組

①輝き事業クリーン活動（地域清掃活動）

毎年年末に近隣の植水小学校および大宮南高校と連携・協力し、周辺地域の清掃活動を実施している。近年はコロナの関係もあり、3校が同じ日程で活動はできていないものの、各学校において取組を行っている。本校では今年度11月13日に学校周辺の道路の落ち葉はきやゴミ拾いをPTAの方と一緒に実施した。



②西区競書会

大宮光陵高校にある全国的にも珍しい書道科と連携を図り、年末に市内西区の中学生（希望者）を対象に、本校を窓口として競書会を開催している。書道科の高校生の指導のもと、技術の向上を図るとともに、中学生と高校生の交流も図っている。今年度は12月23日に実施、参加者からも好評を得られており、リピート率も高くなっている。



(3) 教育課程に関する取組

①未来くるワーク体験（職場体験学習）

例年、2年生では3日間の職場体験学習を実施しており、今年度は12月に実施した。地域の事業所も協力的であり、販売関係や幼稚園・保育園関係のほかにも、さいたま市では珍しい農園やJA、埼玉県警や区役所などの公共機関などでも体験させていただき、仕事の大切さを学ぶことができた。各事業所では従業員の方に声をかけていただくなど、交流も行うことができた。



②赤ちゃん・幼児ふれあい体験

家庭科の授業の一環である「赤ちゃん・幼児ふれあい体験」を3年生で実施している。例年、近隣にある明日香保育園のご協力のもと、クラスごとに訪問させていただき、命の大切さ等について学んでいる。ここ数年はコロナの関係で実施できなかったものの、今年度は実施可能となり、小さい子どもたちと楽しく触れ合うことができた。



(4) 地域とのかかわりに関する取組

①ふれあい体験講座

1月13日の土曜学校公開日に、3年生を対象に、地域の方を講師として招いて体験講座を行った。本年度は、絵手紙・囲碁・護身術・茶道・お囃子の5つの講座を開設し、講師の先生に指導していただくとともに、体験活動をしながらかわいをする中で交流を深めることができた。



②地域花壇への花の植え替え

生徒委員会の1つであるSDGs美化委員会が年2回、学校周辺の花壇に花を植える活動を行い、地域と連携して学校周辺の環境整備に取り組んでいる。

③土曜チャレンジスクール

学校地域連携コーディネーターが主となり、地域の方を先生として招き、本校生徒の希望者に対して土曜日の午前中に自主学習会を実施している。地域の方は教員を退職された方や現役大学生など年齢層も幅広く、特に大学生は雑談からいろいろな相談にのってもらったりなど、交流やコミュニケーション力育成にも一役買っている。



(4) その他

①校外学習（修学旅行）

3年修学旅行では、コロナ前には京都・奈良方面で実施していたが、2年前から函館方面に変更した。これまでは寺社などの日本の伝統文化について学び、自国を知る活動を中心に取り組んできたが、世界遺産に登録された縄文遺跡群やアイヌなどの民族、北海道開拓史、食についてなど、視点を広げて幅広く日本の文化を学習し、自国を知る活動を行っている。生徒保護者にも好評である。



4 成果と課題

本校の特徴である防災教育については、生徒アンケートより、約95%の生徒が「意識が高まった」と回答し、災害時には地域に貢献しようとする姿勢が見られた。しかし、実際に災害が起きた時に行動できるか不安に感じている生徒も多い。今年1月に能登半島地震が発生したが、災害を自分事として捉え、地域に貢献することができるよう、取組に工夫を加えていくことが今後の課題である。

また、防災教育に限らず、地域の方からも取組についての理解を得ることができ、生徒が笑顔でコミュニケーションを取ろうとする姿も見られるようになった。しかし、まだコロナの影響もあり、地域へ自ら積極的に関わる姿勢が不足しており、意識を更に高めていく必要がある。